

今後の委員会活動について

2021/11/24 社会文教委員長

1 令和3年度議会報告・意見交換会に関して

令和3年度議会報告・意見交換会は10月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策の観点から中止となった。今後どのようにしていくか、正副議長及び広報広聴正副委員長、議会報告・意見交換会の分科会は常任委員会が担当してきていることから、各常任委員長も参画して協議・検討を行った。10月予定だったものを延期して同様の形式で日程を改めて開催することは厳しいという状況から、現状で取り組める方法として以下のように整理された。

(1) 「議会だより臨時号」の発行による議会活動の報告

議会報告・意見交換会の分科会において例年報告していた常任委員会のこれまで活動や現状をまとめて「議会だよりの臨時号」として年内発行していく。

(2) 常任委員会の調査活動としての各地区における意見交換の実施のあり方

総務委員会及び産業建設委員会では、調査活動として地域へ入り意見交換等を実施したい方針である。まちづくり委員会など地域の皆さんの負担軽減の観点から、各地区での意見交換会の機会は、議会としてまとめて実施する方向としたい。日程調整は今後広報広聴委員会が主導する予定だが、来年1月下旬から2月上旬の設定を目指す。

2 社会文教委員会の所管事務調査の進め方について

(1) 委員会の所管事務調査の状況

10月に開催を予定していた令和2年度議会報告・意見交換会の分科会テーマは、課題が山積していた「学校と教育」を取り上げ、新型コロナを見据えて、まちづくり委員会の育成部やPTAをターゲットとして意見交換会を行うことを当時は想定していた。しかし、「学校と教育」について意見交換ができなかったことから、調査研究は停滞している。

一方、「議会による行政評価」や決算審査を通じて、介護や保健事業においては、「予防」や早期の「健康づくり」が重要になってくることを改めて認識し、介護フレイル予防を入り口として、「健康寿命の延伸」をテーマに調査研究を進めてきている状況。今後には、地区への調査活動として、まちづくり委員会などの協力を得ながら市民の皆さんのご意見をお聞きしたい考えもある。

(2) 意見交換会のテーマと所管事務調査

上記項目1の(2)について、他の常任委員会と同時に社会文教委員会も地域に入っていくとき、「学校と教育」と「健康寿命の延伸」の2つのテーマを扱うことは困難。調査研究の進捗からも、「健康寿命の延伸」を意見交換会のテーマとしていきたい。そのうえでは、介護フレイル予防などについてこれまでの調査研究もしっかりまとめながら臨むとともに、どのような意見交換会にしていくか、しっかり詰めていく必要がある。